

歴認研活動記録

歴認研活動履歴（平成31年3月以降）

平成31年(2019)

3月25～30日 歴史認識問題研究会台湾調査

(参加者：西岡力・高橋史朗・梅原克彦・勝岡寛次・島田洋一・長谷亮介)

【訪問日時・訪問場所】

3月25日(月)：日本台湾交流協会台北事務所表敬訪問、沼田幹夫代表らと懇談。

26日(火)：アマの家(平和と女性人権館)を訪問。

国立人権博物館を訪問

黄天麟先生(台日文化経済協会名誉総長・元総統府国策顧問)と夕食会。

27日(水)：国軍歴史文物間・忠烈祠・故旧博物館・国立原住民博物館を訪問。

羅福全先生(台湾安保協会名誉理事長・元台湾駐日代表)らと懇談。

28日(木)：烏山頭ダム・八田與一記念館・八田與一銅像・旧官舎等を視察。

鎮安堂飛虎將軍廟を訪問

29日(金)：台南市台日友好交流協会訪問、郭貞慧同協会理事長と懇談。

赤坎楼・国立成功大学・昭和天皇お手植えのガジュマル等を視察。

林百貨店脇の慰安婦像を視察、台南県知事官邸・王育徳記念館を訪問。

令和元年(2019)

8月26日～9月2日 高橋史朗副会長、米国ミルズ・カレッジで

ベアテ・シロタ・ゴードン文書を調査

定期研究会開催記録（第42回～第47回）

回	日時	講師(肩書)	テーマ
42	31.3.22	渡辺 利夫(拓殖大学名誉教授)	台湾に生きた明治日本人の精神 —後藤新平・磯永吉・八田與一
43	31.4.12	北村 稔(立命館大学名誉教授)	日中間の歴史認識問題について思うこと
		西岡 力(麗澤大学客員教授・本会会長)	台湾における歴史認識問題(台湾視察調査報告)
44	31.5.24	長谷 亮介(歴史認識問題研究会研究員)	朝鮮人戦時労働者における労働現場の実態を考察する
		西岡 力(麗澤大学客員教授・本会会長)	3・1運動に関する韓国国史編纂委員会の新研究について
45	31.6.14	ケヴィン・ドーク(ジョージタウン大学教授)	アメリカの保守主義運動
		長谷川 三千子(埼玉大学名誉教授)	日米の相互理解のために
46	31.7.12	水野 雄司(一般社団法人倫理研究所 倫理文化研究センター専門研究員)	創作、詩人、そしてアンビヴァレント —村岡典嗣・津田左右吉・丸山真男の方法論とは
		山本 直人(東洋大学非常勤講師)	白村江の戦から大東亜戦争へ —二つの敗戦をめぐる民族の復興と再生
47	31.8.23	荒木 信子(韓国研究者)	韓国との「歴史認識問題」をさかのぼる —日本統治時代の事例から
		峯崎 恭輔(正定事件研究者)	正定事件—歴史認識と列福問題